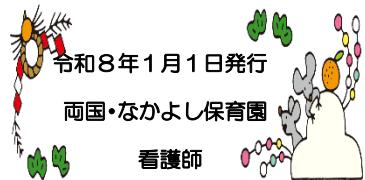


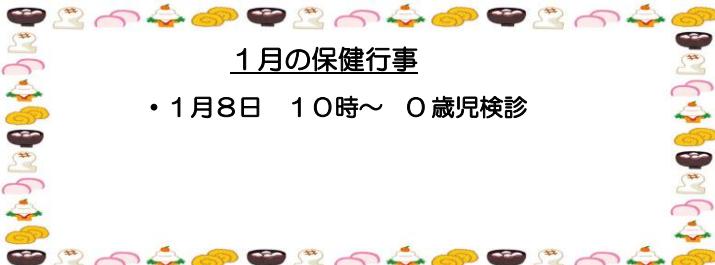


# ほけんだより



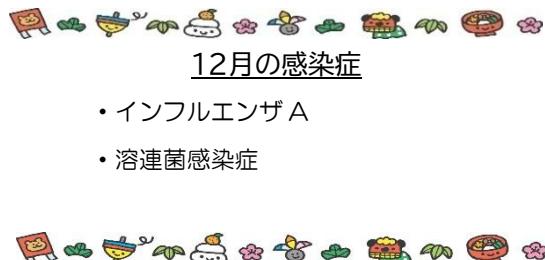
新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

寒い季節は、肌の乾燥や痒みによって皮膚トラブルを起こしやすくなります。適切な保湿剤を使用し皮膚トラブルにならないよう気をつけていきましょう。まだまだ感染症がはやる時期でもあります。うがい、手洗い、咳工チケットで感染予防をしながら元気にすごしましょう。



## 1月の保健行事

・1月8日 10時～ 0歳児検診



## 12月の感染症

- ・インフルエンザ A
- ・溶連菌感染症

## 毎朝の体調チェックをお願いします

1月2月は、まだまだ感染症がはやる時期です。園で楽しく過ごすために毎朝の体調チェックをしましょう。朝は大変忙しくじっくり見ることは難しいとは思いますが、感染症を早期発見、感染拡大を予防するために、ご協力をお願いします。

★ 顔色や表情は？

★ 機嫌は？

★ 肌の状態は？

★ 熱やせきは？



★ 便や尿のようすは？

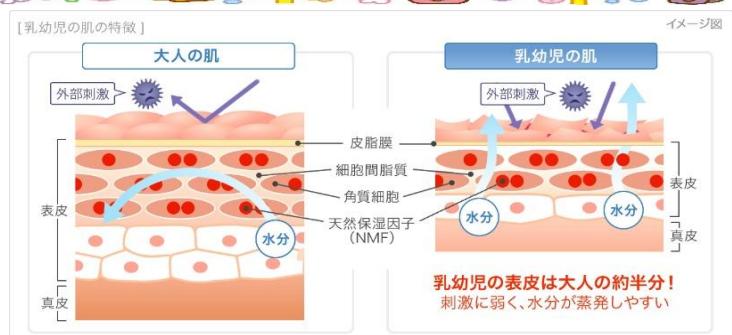
★ 体のうごきは？

★ 子どものことば？



## 子どもの肌が荒れやすいワケと、 スキンケアの基本は清潔と保湿

子どもは、肌のバリア機能が未発達なので、乾燥すると、そのバリア機能がどんどん失われるため、荒っていくのです。肌を保護するバリアがない状態なので、乾燥肌が進むと、あかぎれや発しんなど、さまざまな皮膚トラブルが出やすくなります。



主に冬の乾燥した時期に幼児に多く見られる皮膚病で、口の周りに赤みや腫れが現れます。乾燥によってカサカサになった唇を、舌でなめてうるおそうとして何度も繰り返すことで起こります。唇の乾燥と、舌でなめるという物理的刺激が加えられることで口周辺の皮膚が荒れてしまうのです。睡眠中に保湿をしましょう

